

NGU 教養スタンダード

NGU 教養スタンダード

本学のカリキュラムの特色のひとつとして、どの学部の学生でも学べる《NGU 教養スタンダード科目》を開設しています。《NGU 教養スタンダード科目》は、現代社会で生きていくために必要な知識と技術をしっかり身につけ、専門知識だけに偏らない豊かな人間性を育てるために、次のような3つの目標を掲げて、カリキュラムを編成しています。

- キリスト教主義にもとづいた豊かな人格の形成
- 社会生活に必要な知識や技術の修得
- 成熟した市民として必要な教養の養成

NGU 教養スタンダード科目の構成

キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説 1」「キリスト教概説 2」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

自己理解と自己開発に関する科目

1年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～2b」などの科目を配置して、「将来になりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

情報に関する科目

情報教育の充実、本学の大きな特色です。全学生にノートパソコンを配付し、すべての学生がコンピュータを使って学べるように指導しています。必修科目の「情報処理基礎」では、コンピュータやネットワークの基本的な利用方法を半年間でマスターします。

言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」の6カ国語を学ぶことができます（学部によっては履修できない外国語もあります）。また、「日本語表現上級」も学修することができます。

社会的教養に関する科目

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには、一般教養の修得が欠かせません。本学では、＜歴史・文化＞、＜社会＞、＜自然・人間・生命＞、＜地域＞の4区分の学修を通じて、適切な教養の修得を目指します。

教職に関する科目

ここに配置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

大学 COC 事業に関する 4 年間の学修

文部科学省は現在、「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を通じて、全学的に地域と連携した教育・研究・社会貢献に取り組む大学を支援しています。2013 年 8 月、名古屋学院大学は同事業に採択され、学生のみなさんが地域のことに興味関心を抱き、学修意欲を高められるカリキュラムを充実させました。これにより、企業が必要とする「社会人基礎力」が高まり、4 年後の就職にも有利となることをめざしています。

※ COC は Center of Community の略で、地域再生の核となる大学の意味です。

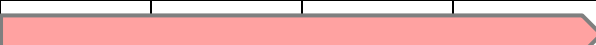
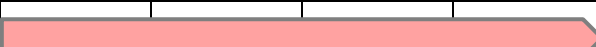
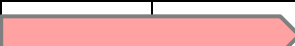
名古屋学院大学の取り組みの概要

本学の COC 事業はキャンパスの立地する名古屋市および瀬戸市を対象とし、両市が抱える地域の課題について、「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」のまちづくりを通じて解決をめざすものです。

「地域商業まちづくり」・・・商店街活性化などを通じて地域経済効果の増大をめざします。
「歴史観光まちづくり」・・・歴史の掘起しや地域資源の発掘により歴史観光を推進します。
「減災福祉まちづくり」・・・災害に強いひとづくり・まちづくりをめざします。

学生のみなさんは、下図に示すカリキュラムにより、行政や地域（住民・企業・団体）とも連携・協力しながら学修を進めていきます。これらの授業においては、教室内での学修はもちろんですが、学外でのイベントやフィールドワークに参加する場合もあります。

COC に関するカリキュラムの流れ

カリキュラム	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
① 教育イベント「まちづくり提言コンペ」				
② 課題解決型授業（PBL）				
③ 地域志向型科目（各学部専門科目）				
④ 教育イベント「地域フォーラム」				

- ① 全学生が参加する **1 年生の教育イベント**として、「基礎セミナー」において、名古屋市または瀬戸市にかかわる「**まちづくり提言コンペ**」を実施します。
- ② **課題解決型学習（PBL）**として、全学共通の《NGU 教養スタンダード科目》において、地域商業・歴史観光・減災福祉に関する「まちづくり学」「まちづくり演習」を開設するとともに、希望者は「上級まちづくり演習」で継続受講することも可能です。
- ③ 全学部で、地域を学修対象とした**地域志向型科目**を充実していきます。
- ④ 全学生が参加する **3・4 年の教育イベント**として、「演習」での課題研究の成果などを地域の方向けに発表する「**地域フォーラム**」を実施します。専門科目としての演習科目やゼミなどで学修・研究した成果を広く地域へ発信します。

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

COC+事業と 2019 年度のプログラム

「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を踏まえ、地域と大学の連携をより深く進め、さらに地域での就業につなげるプログラムが COC+（プラス）事業です。

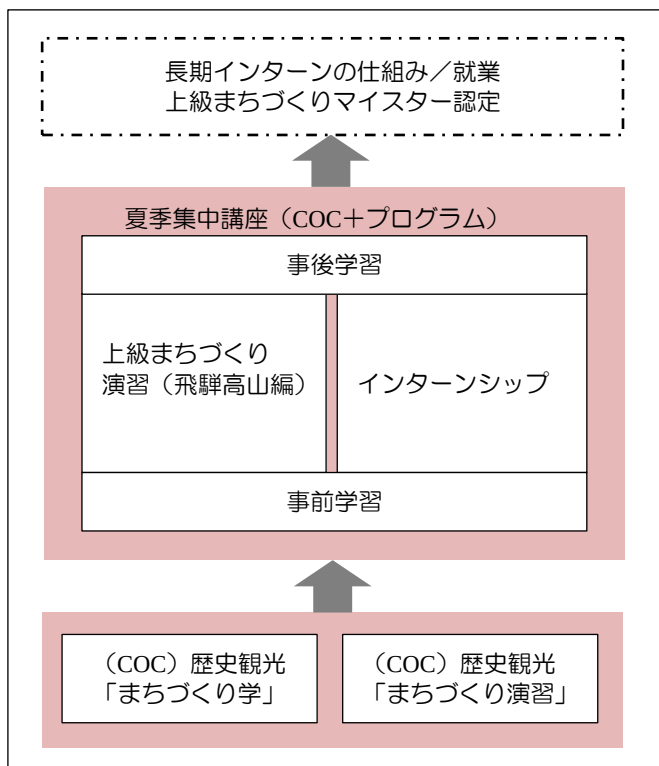
2019 年度 COC+プログラム

COC+のプログラムでは、大学 COC 事業で培った知識や経験を前段として、地域とともに将来の地域づくりを担う人材（上級まちづくりマイスター）を育成します。

2019 年度は、名古屋学院大学が COC 事業で地域づくりの題材とする「歴史観光」分野で開講します。古くから観光地域づくりで先進的な岐阜県高山市における観光地域づくり人材育成プログラムです。

COC+のプログラムは、COC 事業の「まちづくり学」「まちづくり演習」科目（歴史観光分野）の単位を修得した学生または履修している学生が受講できます。名古屋キャンパスと瀬戸キャンパスの両方の学生が参加可能です。

高山市における COC+プログラム「上級まちづくり演習」「インターンシップ」の流れと特徴



《プログラムの特徴》

- 将来的に観光産業をめざすなら、日本有数の観光地で国内外からも注目の高い高山市で、観光産業にかかわる実務者とともに実践的な演習を受けられます。
- 将来的にサービス産業をめざす学生にとって、単なるアルバイト目線ではなく、サービス産業従事者の視点をもつチャンスです。観光地ならではの宿泊産業の体験をとおして、サービス業におけるサービスとは何か、ホスピタリティとは何かを考え、表現するスキルが身につきます。
- 高山市には観光産業をはじめ、多くの分野の企業があります。飛騨高山や下呂などの出身の学生にとっては、自分の地域をよりよく知り、魅力を発見する機会になります。

マイスター認定制度

初級まちづくりマイスター

COC 事業で取り組んでいる 3 つのまちづくり分野（地域商業・歴史観光・減災福祉）ごとに COC カリキュラムで開講している「まちづくり学」「まちづくり演習」科目の両方を履修し単位修得した学生に対し、「初級まちづくりマイスター」を認定します。

上級まちづくりマイスター

COC 事業で初級まちづくりマイスターを認定された者のうち、「上級まちづくり演習」を履修し単位修得すること、かつ公的な社会的活動に従事したり公的資格の取得をした学生を対象に、「上級まちづくりマイスター」を認定します。

商学部 商学科

教育目標（学則第3条の2より）

商学科は、幅広い教養と商学、経営、情報、会計に関する基礎ならびに専門知識を身に付け、変動やまない国際社会、情報社会のなかで、理論的背景をもち、多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

商学科に所属する学生は、学部および学科のカリキュラムを履修、学修することをおして、以下の能力が獲得できる。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たした学生には商学部から学士（商学）の学位が授与される。

知識・技能

- 1) 建学の精神に基づく教育を基礎としたカリキュラムの履修により、広い視野および豊かな倫理観と教養を持って行動することができる。
- 2) 商学・経営学・会計学における高度な学術理論およびその実践について学修し、企業や産業が直面する問題の本質を正しく理解することができる。
- 3) 修得した知識や技能を活用して、商学・企業経営に関する諸問題に対する解決策を探究する能力を身につけることができる。

思考力・判断力・表現力

- 1) 実際の企業経営について、自ら課題を見つけて解決していくために必要な思考力・判断力・行動力を身につけることができる。
- 2) 自己の課題解決に対する取り組みおよびその成果を論理的に他者に説明することができる。

主体性・多様性・協働性

- 1) 産業および企業経営の持続的成長が社会経済の健全な発展に大きく影響を与えることを自覚して、商学・企業経営に関する多様な理論・実践を学修し、それらを組み合わせて問題解決する能力を身につけることができる。
- 2) 主体性を持って、他者および地域との協働のもと、問題解決に取り組むことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

商学科における専門教育の展開については、1年次に商学部教育の基盤となる必修科目を履修し、2年次より基礎から応用までの科目を段階的かつ体系的に履修する。さらに高度専門プログラムにおいて企業経営の実践的知識を学修する科目を配置し、学生は自己の学修上の関心および卒業後の進路に応じて必要な科目を選択して履修する。

このような専門教育を含めて、ディプロマ・ポリシーで掲げた目標を達成するために、次のような教育内容、教育方法、学修成果の評価の方針に基づき、カリキュラムの編成と授業の実施をする。

教育内容

- 1) カリキュラムは、成熟した市民としての基礎的素養を修得する《NGU 教養スタンダード科目》、商学部の2学科に共通

して必要な知識・技能を修得する《学部共通科目》、商学科の専門性を深める《学科専門科目》から学ぶ。

- 2) 《学部共通科目》においては、商学部の専門教育の基盤を身につけるために《学部必修科目》として「商学総論 1・2」「経営学総論 1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学 1・2」を履修する。また、《商学・流通》、《経営》、《会計》、《金融・財務》、《情報》の各分野の基礎科目を学ぶ。さらに、実践的視点と広い視野を身につけるために《実践的プログラム》および《学部関連》の各科目を配置している。
- 3) 《学科専門科目》においては、個々の進路や興味に沿って各分野の学びを深められるよう、《商学・流通》、《経営》、《会計》、《金融・財務》、《スポーツ・マネジメント》の専門応用科目を配置している。

教育方法

- 1) それぞれの授業においてあらかじめ示された教育目標を達成させるとともに、個々の学生の学習進度に即して適切な課題を与えることで、主体的な学習を支援する。
- 2) 講義科目においては、小テストやレポートを通して受講生の学習状況や理解度の把握に努める。演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表をおこなう。
- 3) 経営実践に関する知識の獲得およびその定着を促進するために、実社会を見聞する機会を設ける。
- 4) 社会で活躍するために必要な商学、企業経営、会計に関する実践的知識および資格を修得するための少人数講義を設ける。

学修成果の評価

- 1) 各科目の評価は、原則として平常点および期末試験などによる総合評価によりおこなわれる。
- 2) 各科目について、その内容、到達目標、成績の評価方法と基準をシラバスなどで公開して学生に周知した上で、厳格な成績評価をおこなう。

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

求める学生像

商学科では、将来、ビジネスの現場で活躍し、社会経済の健全な発展に寄与することを希求する者、具体的な下記の要件を備えた者を入学者として受け入れの対象とする。

- 1) 建学の精神に沿う豊かな人間性と誠実さをもち、社会の役に立つことを実行しようとする高い志があること
- 2) 現実の経済および企業経営の実践に対する探究心が旺盛で、国際的視野に富み、進んで真理を探究する意欲と能力があること
- 3) 問題解決能力を身につけさせる本学部教育方針のもとで、学習に必要な基礎的知識・論理的思考力・コミュニケーション能力を備えていること
- 4) 本学部で修得した専門的知識および実践的問題解決能力を、国際社会および地域社会の将来に役立てようという強い意志をもつこと

入学時までに身につけるべき知識、能力など

- ・ 社会関連科目を履修し、経済および企業経営に関する基礎知識を習得していることが望まれる。
- ・ 情報関連科目を履修し、ICT の経済・経営への影響を理解していることが望まれる。
- ・ 国語などの学習によって、筋道の立った文章が書けることが望まれる。

入学者選抜

- 1) 公募型推薦入試は、高等学校などにおける学習意欲や学習態度を基礎資料とし、面接により入学者を選抜する。
- 2) 上記以外の推薦入試として、本学第1志望者を対象とし、書類審査（調査書など）、面接、小論文により、高等学校でのスポーツや文化・芸術活動などを評価する制度もある。
- 3) 特別奨学生入試は、書類審査（調査書など）、学力試験および面接により、入学者を選抜する。
- 4) 一般入試およびセンター試験利用入試では、学力試験、大学センター試験による学力検定を経て入学者として選抜する。

カリキュラムの概要

商学科の特色

商学科は、幅広い教養と商学・流通、経営、会計、金融・財務、情報およびスポーツ・マネジメントに関する基礎ならびに専門知識を身につけ、変動やまなない国際社会、情報社会の中で、理論的背景をもち、多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育目標とします。これらの商学、経営学および会計学の各分野の諸理論を学習するとともに、地域経済、市場ならびに企業経営における実際の諸問題を解決できる能力を身につけることを目指します。

商学科の科目

商学科のカリキュラムは、《NGU 教養スタンダード科目》と《専門科目》に大別され、さらに《専門科目》は《学部共通科目》と《学科専門科目》という2つの科目区分によって構成されます。

専門科目

- ① 《学部共通科目》は、《学部必修科目》《商学・流通》《経営》《会計》《金融・財務》《情報》《実践的プログラム》《学部関連》から構成されています。
 - a) 《学部必修科目》として「商学総論 1・2」「経営学総論 1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学 1・2」を配置しています。いずれも商学の基礎を学修します。
 - b) 《商学・流通》《経営》《会計》《金融・財務》《情報》は、商学・経営学の各分野の基盤となる科目を配置しています。
 - c) 《実践的プログラム》は、「専門演習」（ゼミ）と経営実践、ビジネス英語などを学修する諸科目から編成されています。「専門演習」（ゼミ）は、学生各自が関心を有する専門的な内容を学び取るために、2年間（3・4年次）にわたって少人数でテーマに関する調査、報告、議論、講読をおこないます。学修・研究の成果として卒業論文を作成・提出します。
 - d) 《学部関連》は、資格取得を目指した科目、海外留学に関連した科目の他、「職業指導」「外書講読」「会社法」などの科目を配置しており、各自の進路、学修上の関心に応じて履修します。
- ② 《学科専門科目》は、《商学・流通》《経営》《会計》《金融・財務》《スポーツ・マネジメント》の分野に分かれます。各自の進路、関心に応じて各分野の専門的な内容を学修します。

カリキュラム上の特色

履修コース

商学科は、ビジネスマネジメント全般を段階的、効果的かつ効率的に学修できるよう科目配置をおこなっています。

そのため、科目によっては**シラバスで前提科目**の履修を求められている場合がありますので、注意が必要です。

中でも、系統的に学修を進めなければ、効果的な成果を得られないと判断される科目について、履修の順序が規定されています。下表に示す科目はAの科目→Bの科目の順に履修し、それぞれの単位を修得しなければ次の科目の履修ができません。

履修順序指定科目（商学科）

A		B	
授業科目	配当年次	授業科目	配当年次
簿記入門 会計学入門	1	簿記初級・中級	2
		簿記上級	3
		工業簿記 1・2	2
		簿記論初級・中級	2
		簿記論上級	3
		財務諸表論初級・中級	2
		財務諸表論上級	3

他学科開講科目の履修

商学部ではコース限定の科目がある反面、他学科科目の履修が認められており、《自由選択科目（フリーゾーン）》として卒業要件にも含まれます。履修には本人の申し出が必要となります。履修登録期間または履修登録変更期間に教務課窓口で申し込んでください。

資格単位認定

学生が主体的に学ぶ意欲を評価することを目的として、「能力開発 1～3」を配置しています。また、より高い目標へ挑戦する学生をサポートすることを目的として、特定の授業科目の単位認定制度を設けています。学部が指定する資格を取得し、定められた基準をクリアした場合に、本人の申請にもとづき、所定の単位が認定（R 評価）されます。なお、資格センターではみなさんの便宜をはかるために、各種資格講座を学内で開設しています。

1. 対象となる資格など

表 1（「能力開発 1～3」を認定）、各 2 単位、項番 1・14 は最大 4 単位

項番	認定する資格・検定名	認定基準	項番	認定する資格・検定名	認定基準
1	TOEIC Listening & Reading (IP も含む)	470 点以上	10	色彩検定	2 級以上
		600 点以上	11	カラーコーディネーター検定試験	2 級以上
2	ビジネス能力検定試験（B 検） ジョブパス	2 級以上	12	一種証券外務員資格	資格取得
3	秘書技能検定試験	2 級以上	13	二種証券外務員資格	資格取得
4	IT パスポート試験	資格取得	14	経営学検定試験 (マネジメント検定)	初級
5	基本情報技術者試験	資格取得			中級以上
6	旅行業務取扱管理者試験 (「国内」または「総合」)	資格取得	15	日本語検定	2 級以上
7	通関士試験	資格取得	16	ファイナンシャル・ プランニング技能検定	3 級以上
8	宅地建物取引士資格試験	資格取得	17	診療報酬請求事務能力認定試験	資格取得
9	行政書士試験	資格取得	18	貿易実務検定	C 級以上

表 2（特定の授業科目を単位認定）

認定する資格・検定名	認定基準	認定される授業科目	認定される最大単位数
リテールマーケティング（販売士） 検定試験	3 級	商業経営講座基礎 1・2	2 単位
	2 級	商業経営講座基礎 1・2	4 単位
	1 級	商業経営講座上級 1・2	8 単位
日本商工会議所簿記検定試験	2 級	簿記初級・中級	4 単位
	1 級	簿記初級・中級・上級 工業簿記 1・2	10 単位
全国経理教育協会簿記能力検定試験	1 級(全科目)	簿記初級・中級	4 単位
	上級	簿記初級・中級・上級 工業簿記 1・2	10 単位
全国商業高等学校簿記実務検定試験	1 級(全科目)	簿記初級・中級	4 単位
税理士試験 簿記論	資格取得	簿記論初級・中級・上級	12 単位
税理士試験 財務諸表論	資格取得	財務諸表論初級・中級・上級	

2. 申請期間

春学期は 6 月、秋学期は 12 月の開講日に申請。申請月以前 3 年以内に取得したものに限りです。

表 1 について、入学前に取得したものは申請を許可しません。

表 2 について、入学日から 3 年以内に取得した資格のみ、入学年度に限り申請を受けつけます。

3. 申請期間の特例

最終学年の学生（卒業予定者）に限り、「2. 申請期間」以外に教務課より CCS にて周知される特定の期間において追加申請を受けつけます。

4. 認定

学部において承認された場合、単位を認定します。申請時の年次が科目配当年次に達していない場合でも、配当年次に関係なく単位認定をおこないます。

5. 成績標語など

単位認定の成績標語は「R」（認定）とします。認定された科目は GPA 算出の対象外となります。

6. 補足事項

認定単位数は、履修制限単位数には含みません。

表 1 について、各種資格の申請は各 1 回とします。

表 1 項番 1 について、認定基準ごとに 1 回ずつ申請が可能であり、両基準合計で最大 4 単位の認定となります。

表 1 項番 14 について、認定基準ごとに 1 回ずつ申請が可能です。

表 2 について、教職課程加入者（希望者）は、教員免許申請に「認定」科目を含められないため、教員免許要件上必修である「簿記初級・中級」は認定しません。

その他詳細は教務課までお問い合わせください。

演習科目

「基礎セミナー」

1 年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学習方法、レポ

ートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法などを身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

「専門演習」

1) 専門演習とは

「専門演習」（ゼミ）は、3・4年次の2年間受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開します。ゼミは少人数でおこない、専門的なテーマについて深く研究します。さらに、学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。かくして、ゼミは切磋琢磨の場であり、その結果、ゼミ生の間には強い仲間意識が醸成されます。

「専門演習」（ゼミ）には、多種多様なゼミナールを配置し、ほぼ全員がいずれかのゼミに加入しています。詳細は、2年次秋学期におこなう「専門演習」（ゼミ）に関するガイダンスなどで指示・連絡します。

2) 専門演習の履修にあたって

1. ゼミの選択：「専門演習」（ゼミ）は学科専門教育の仕上げにあたる科目であり、主体的で積極的な研究態度が要請されます。自己の研究課題を考え、各ゼミのテーマを調べ、各自に有意義と思われる「専門演習」（ゼミ）に応募してください。

2. 定員：担当する教員数によって変わりますが、通常1ゼミ15名程度を募集します。

3. 募集：2年次秋学期にCCSより募集がありますので、案内を見逃さないように注意しましょう。

（1）選考

各「専門演習」（ゼミ）指導教員による書類選考、または面接による選考がおこなわれます。

希望の「専門演習」（ゼミ）がいずれも定員超過の場合、他の「専門演習」（ゼミ）に所属が決定する場合があります。

（2）発表 11～12月

4. 資格：2年次終了時において総修得単位数が40単位に満たない時はゼミを履修できません。

選考において合格（内定）していても、内定は「取り消し」となります。

5. 卒業論文：2年間の指導を受けながら、4年次にはゼミの研究を論文（通称ゼミ論文）にまとめます。

この論文を担当教員に提出することで、2年間の研究の評価を受け、単位が認定されます。

履修モデル

商学科

学部共通科目

商学・経営学の基盤となる多くの科目が設置されています。

① 《学部共通科目》となる「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」は1年時に履修します。

② 商学・経営学および情報マネジメントの基礎科目をバランスよく履修してください。さらに、実践の視点、関連科目、ビジネス外国語に関する科目を配置しています。各自、学修上の関心に従って履修科目を選択してください。

学科専門科目

《商学・流通》、《経営》、《会計》、《金融・財務》および《スポーツ・マネジメント》に区分されています。

それぞれの区分において理論と実践的技能を身につける科目を配置していますので、各自の学習プランおよび進路に応じて履修科目を選択してください。

卒業要件

卒業要件単位の修得

商学部のカリキュラム表にもとづいて必要な単位数（124 単位）以上を修得しなければなりません。

卒業要件単位数

上記の、学則第 16 条に規定する単位数（124 単位）を卒業要件単位数といいます。それぞれの単位数には必修科目を含みます。授業科目表と照らして区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかりと立ててください。

NGU教養 スタンダード科目	キリスト教	34単位以上 (必修14単位を含む)
	自己理解と自己開発	
	情報	
	言語とコミュニケーション	
	歴史・文化の理解	
	社会の理解	
	自然・人間・生命の理解	
	地域の理解	
	教職 ※1	
学部共通科目		46単位以上 (必修16単位を含む)
学科専門科目		34単位以上
自由選択科目 ※2		10単位以上
合計		124単位以上

※1 教職課程加入者のみ履修可。8単位までを卒業要件単位とすることができる。

※2 〔フリーゾーン〕科目区分を問わず、自由に選択できる。

商学科 NGU教養スタンダード科目

授業科目名	単位数		配当 年次	ナンバ リング
	必修	選択		
キリスト教				
キリスト教概説1	2		1	AC1101
キリスト教概説2	2		1	AC1102
聖書学		2	2	AC2301
キリスト教倫理		2	2	AC2302
キリスト教史		2	1	AC1301
自己理解と自己開発				
基礎セミナー	2		1	AU1101
発展セミナー		2	1	AU1301
キャリアデザイン1a		2	1	AU1302
キャリアデザイン1b		2	1	AU1303
キャリアデザイン2a		2	2	AU2301
キャリアデザイン2b		2	2	AU2302
ボランティア学		2	1	AU1304
ボランティア演習		2	1	AU1305
インターンシップ1		2	1	AU1306
インターンシップ2		2	1	AU1307
情報				
情報処理基礎	2		1	AI1101
言語とコミュニケーション				
日本語表現	2		1	AV1101
日本語表現上級		2	1	AV1301
基礎英語1	1		1	AV1102
基礎英語2	1		1	AV1103
英会話1	1		1	AV1104
英会話2	1		1	AV1105
実用英語1		1	2	AV2301
実用英語2		1	2	AV2302
情報英語1		1	2	AV2303
情報英語2		1	2	AV2304
TOEIC英語1		1	2	AV2305
TOEIC英語2		1	2	AV2306
ドイツ語1		1	2	AV2307
ドイツ語2		1	2	AV2308
フランス語1		1	2	AV2309
フランス語2		1	2	AV2310
スペイン語1		1	2	AV2311
スペイン語2		1	2	AV2312
中国語1		1	2	AV2313
中国語2		1	2	AV2314
韓国語1		1	2	AV2315
韓国語2		1	2	AV2316
歴史・文化の理解				
【教養】日本史		2	1	AW1301
【教養】世界史		2	1	AW1302
【教養】日本文学		2	1	AW1303
【教養】外国文化論		2	1	AW1304
【教養】文化人類学		2	1	AW1305
【教養】陶芸論		2	1	AW1306
【教養】陶芸演習		2	1	AW1307

授業科目名	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
社会の理解				
【教養】政治学		2	1	AO1301
【教養】国際政治学		2	1	AO1302
【教養】国際関係論		2	1	AO1303
【教養】平和学		2	1	AO1304
【教養】法学		2	1	AO1305
【教養】日本国憲法		2	1	AO1306
【教養】経済学		2	1	AO1307
【教養】統計学		2	1	AO1308
【教養】社会学		2	1	AO1309
【教養】教育学		2	1	AO1310
自然・人間・生命の理解				
【教養】哲学		2	1	AN1301
【教養】心理学		2	1	AN1302
【教養】数学		2	1	AN1303
【教養】物理学		2	1	AN1304
【教養】化学		2	1	AN1305
【教養】地学		2	1	AN1306
【教養】生物学		2	1	AN1307
【教養】環境学		2	1	AN1308
【教養】情報処理論		2	2	AN2301
【教養】スポーツ健康科学		2	1	AN1309
【教養】スポーツ初級a		1	1	AN1310
【教養】スポーツ初級b		1	1	AN1311
【教養】スポーツ中級a		1	2	AN2302
【教養】スポーツ中級b		1	2	AN2303
地域の理解				
まちづくり学		2	1	AR1301
まちづくり演習		2	1	AR1302
上級まちづくり演習		2	2	AR2301
教職				
教職論		2	1	AQ1301
教育原理		2	1	AQ1302
教育心理学概論1		2	1	AQ1303
教育心理学概論2		2	1	AQ1304
教育制度論		2	1	AQ1305
特別活動論		2	2	AQ2301
教育の方法と技術		2	2	AQ2302
道徳教育論		2	2	AQ2303
生徒・進路指導論		2	2	AQ2304
教育相談		2	2	AQ2305

商学科 専門科目

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
学部共通科目	学部必修科目				
	商学総論1	2		1	CS1101
	商学総論2	2		1	CS1102
	経営学総論1	2		1	CS1103
	経営学総論2	2		1	CS1104
	簿記入門	2		1	CS1105
	会計学入門	2		1	CS1106
	経済学1	2		1	CS1107
	経済学2	2		1	CS1108
	商学・流通				
	流通論		2	2	CS2301
	流通システム		2	2	CS2302
	商業史		2	2	CS2303
	マーケティング論1		2	2	CS2304
	マーケティング論2		2	2	CS2305
	国際マーケティング論		2	2	CS2306
	ロジスティクス		2	2	CS2307
	経営				
	経営管理論		2	2	CS2308
	経営組織論		2	3	CS3301
	国際経営論1		2	2	CS2309
	会計				
	簿記初級		2	2	CS2310
	簿記中級		2	2	CS2311
	会計監査論		2	3	CS3302
	原価計算基礎論		2	2	CS2312
	原価計算システム論		2	2	CS2313
	金融・財務				
	金融基礎論		2	2	CS2314
	金融システム論		2	2	CS2315
	国際金融論		2	3	CS3303
	外国為替論		2	3	CS3304
	財務管理論		2	2	CS2316
	コーポレート・ファイナンス		2	2	CS2317
	情報				
	情報社会論		2	2	CS2318
	情報リテラシー		2	2	CS2319
	情報ビジネス論		2	2	CS2320
	情報と職業		2	2	CS2321
	実践的プログラム				
	専門演習		12	3・4	CS3305・CS4301
	課題研究		6	3・4	CS3306・CS4302
	経営実践		2	2	CS2322
	経営実践応用		2	2	CS2323
	ビジネスマナー		2	2	CS2324
	ビジネスマナー応用		2	2	CS2325
	企業経営セミナー		2	2	CS2326
	ビジネス英語1		2	2	CS2327
	ビジネス英語2		2	2	CS2328
	商業経営講座基礎1		2	2	CS2329
	商業経営講座基礎2		2	2	CS2330
	商業経営講座上級1		2	2	CS2331
	商業経営講座上級2		2	2	CS2332
	学部関連				
	社会事情		2	2	CS2333
	職業指導		2	2	CS2334
外書購読		2	3	CS3307	
会社法		2	3	CS3308	
所得税法		2	3	CS3309	
法人税法		2	3	CS3310	
能力開発1		2	1	CS1301	
能力開発2		2	1	CS1302	
能力開発3		2	1	CS1303	

学部共通科目

授業科目名	単位数		配当 年次	ナンバ リング
	必修	選択		
学部共通科目	海外事情1	2	1	CS1304
	海外事情2	2	1	CS1305
	海外事情3	2	1	CS1306
	海外事情4	2	1	CS1307
	海外研修1	4	1	CS1308
	海外研修2	4	1	CS1309
	海外研修3	4	1	CS1310
	海外研修4	4	1	CS1311
学科専門科目	商学・流通			
	流通政策論	2	2	CS2335
	マーケティング・マネジメント	2	2	CS2336
	リテールマーケティング	2	2	CS2337
	マーケティングリサーチ	2	2	CS2338
	消費者行動論	2	2	CS2339
	国際流通論	2	3	CS3311
	商品政策論	2	3	CS3312
	マーケティング戦略論	2	3	CS3313
	マーケティング・コミュニケーション	2	3	CS3314
	経営			
	経営戦略論	2	2	CS2340
	人的資源管理論	2	3	CS3315
	生産管理論	2	3	CS3316
	組織行動論	2	3	CS3317
	労使関係論	2	3	CS3318
	現代企業論	2	2	CS2341
	経営史	2	2	CS2342
	サービスマネジメント	2	2	CS2343
	会計			
	会計基礎論	2	2	CS2344
	財務会計論	2	2	CS2345
	簿記上級	2	3	CS3319
	財務諸表分析	2	3	CS3320
	工業簿記1	2	2	CS2346
	工業簿記2	2	2	CS2347
	管理会計	2	2	CS2348
	監査システム論	2	3	CS3321
	国際会計論	2	3	CS3322
	特殊会計	2	3	CS3323
	簿記論初級	2	2	CS2349
	簿記論中級	2	2	CS2350
	簿記論上級	2	3	CS3324
	財務諸表論初級	2	2	CS2351
	財務諸表論中級	2	2	CS2352
	財務諸表論上級	2	3	CS3325
	金融・財務			
	証券市場論	2	2	CS2353
	証券投資論	2	3	CS3326
	国際資本市場論	2	2	CS2354
	ポートフォリオ・マネジメント論	2	3	CS3327
	スポーツ・マネジメント			
	スポーツ経営論	2	2	CS2355
	スポーツ経営管理学	2	2	CS2356
	スポーツ・マーケティング	2	2	CS2357
	スポーツ・マネジメント演習	2	2	CS2358
	スポーツ・コーチング学	2	2	CS2359
	スポーツ戦術・戦略	2	2	CS2360
	スポーツ情報分析	2	2	CS2361
	競技者メンタルマネジメント演習	2	2	CS2362
	トレーニング演習	2	2	CS2363
	トレーニング科学	2	2	CS2364
	スポーツ社会学	2	2	CS2365
	地域スポーツ論	2	2	CS2366

学科専門科目

商学部 経営情報学科

教育目標（学則第3条の2より）

経営情報学科は、商学、経営学を基礎に、高度情報化および本格的な国際化の進展に的確に対応できる専門知識を修得し、社会の多様なニーズに応えられる実践的、実務的「実力」を身に付け、「実力派ビジネスパーソン」として活躍する人材の育成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

経営情報学科に所属する学生は、学部および学科のカリキュラムを履修、学修することをおして、以下の能力が獲得できる。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たした学生には商学部から学士（商学）の学位が授与される。

知識・技能

- 1) 建学の精神に依拠する教育を基盤とするカリキュラムの履修により、グローバルな視点から豊かな倫理観と教養に基づいて行動することができる。
- 2) 商学、経営情報学を深く学ぶことによって、それらを柔軟に活用することができる能力を身につけることができる。
- 3) 修得した知識や技能を活用して、経済社会の各分野において革新を担うことができる能力を身につけることができる。

思考力・判断力・表現力

- 1) 自ら課題を設定し、必要な情報を収集・分析して、論理的な思考力によって課題を解決できる能力を身につけることができる。
- 2) 自己の課題解決に対する取り組みおよびその成果を論理的に他者に説明する方法論および能力を身につけることができる。

主体性・多様性・協働性

- 1) 企業および地域社会が抱える諸問題への高い関心とそれらの解決に対する意欲を持ち、経営情報学における多様な理論・実践を学修し、それらを柔軟に組み合わせて活用して課題を探究し、克服していく能力を身につけることができる。
- 2) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

経営情報学科における専門教育の展開については、1年次に商学部教育の基盤となる必修科目を履修する。経営情報学の各分野について基礎から応用まで段階的かつ体系的に学修する。さらに、ICT（情報通信技術）活用のほか、地域商業活動の活性化、ビジネスの国際化およびホスピタリティに焦点を当て、各分野における理論と実践を学修する。

教育内容

- 1) カリキュラムは、成熟した市民としての基礎的素養を修得する《NGU 教養スタンダード科目》、商学部の2学科に共通して必要な知識・技能を修得する《学部共通科目》、経営情報学科の専門性を深める《学科専門科目》から学ぶ。

- 2) 《学部共通科目》においては、商学部の専門教育の基盤を身につけるために《学部必修科目》として「商学総論 1・2」「経営学総論 1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学 1・2」を履修する。また、《商学・流通》、《経営》、《会計》、《金融・財務》、《情報》の各分野の基礎科目を学ぶ。さらに、実践的視点と広い視野を身につけるために《実践的プログラム》および《学部関連》の各科目を配置している。
- 3) 《学科専門科目》は、《情報科目》および《発展科目》から構成されている。
- 4) 《情報科目》では、情報による革新の理論と実践を学修するための商学・経営学の科目、経営情報の実習などを履修する。さらに、情報および情報システムを活用した経営管理および経営革新の理論と実践を学修する。
- 5) 《発展科目》では、ICT（情報通信技術）活用に関する科目のほか、地域商業活動活性化ならびに地域ブランド、国際マーケティングおよびサービスやホスピタリティに関する科目を履修する。

教育方法

- 1) 学生が主体性をもって、自己の課題を設定し、他者および地域の人々との協働のもと、課題解決に努める講義を実施する。
- 2) ICT を経営やビジネスに活用するための知識および技能を修得するための少人数講義を設ける。
- 3) それぞれの授業においてあらかじめ示された教育目標を達成させるとともに、個々の学生の学習進度に即して適切な課題を与えることで、主体的な学習を促す。
- 4) 講義科目においては、小テストやレポートを通して受講生の学習状況や理解度の把握に努める。演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表をおこなう。
- 5) 経営実践に関する知識の獲得およびその定着を促進するために、実社会を見聞する機会を設ける。

学修成果の評価

- 1) 各科目の評価は、原則として平常点および期末試験などによる総合評価によりおこなわれる。
- 2) 各科目について、その内容、到達目標、成績の評価方法と基準をシラバスなどで公開して学生に周知した上で、公正で厳格な成績評価をおこなう。

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

求める学生像

経営情報学科では、経営情報学における知識および技能を修得し、それらを活用して産業および企業の革新に寄与することを希求する者、具体的な下記の要件を備えた者を入学者として受け入れの対象とする。

- 1) 建学の精神に沿う豊かな人間性と誠実さをもち、社会の役に立つことを実行しようとする高い志があること
- 2) 現実の経済および企業経営の実践に対する探究心が旺盛で、国際的視野に富み、進んで真理を探究する意欲と能力があること
- 3) 問題解決能力を身につけさせる本学部教育方針のもとで、学習に必要な基礎的知識・論理的思考力・コミュニケーション能力を備えていること
- 4) 本学部で修得した専門的知識および実践的問題解決能力を、国際社会および地域社会の将来に役立てようという強い意志をもつこと

入学時まで身につけるべき知識、能力など

- ・ 社会関連科目を履修し、経済および企業経営に関する基礎知識を習得していることが望まれる。
- ・ 情報関連科目を履修し、ICT の経済・経営への影響を理解していることが望まれる。

- ・国語などの学習によって、筋道の立った文章が書けることが望まれる。

入学者選抜

- 1) 公募型推薦入試は、高等学校などにおける学習意欲や学習態度を基礎資料とし、面接により入学者を選抜する。
- 2) 上記以外の推薦入試として、本学第1志望者を対象とし、書類審査（調査書など）、面接、小論文により、高等学校でのスポーツや文化・芸術活動などを評価する制度もある。
- 3) 特別奨学生入試は、書類審査（調査書など）、学力試験および面接により、入学者を選抜する。
- 4) 一般入試およびセンター試験利用入試では、学力試験、大学センター試験による学力検定を経て入学者として選抜する。

カリキュラムの概要

経営情報学科の特色

経営情報学科では、企業成長や仕事に実際に役立つ情報技術の活用、および企業業績の向上をもたらす国際ビジネスの実践を重視し、これらの知識と技能を効果的かつ効率的に修得できるように実習形式の授業を多く取り入れています。また情報関連資格取得や国際ビジネスパーソンとしての素養の涵養に力を注いで、学生が自信をもって実社会に進めるようにしています。このような教育目標を効果的かつ効率的に達成するための諸科目を配置しています。

経営情報学科の科目

経営情報学科のカリキュラムは、既述の《NGU 教養スタンダード科目》と《専門科目》に大別され、さらに《専門科目》は《学部共通科目》と《学科専門科目》という2つの科目区分によって構成されます。

専門科目

- ① 《学部共通科目》は、《学部必修科目》《商学・流通》《経営》《会計》《金融・財務》《情報》《実践的プログラム》《学部関連》から構成されます。
 - a) 《学部必修科目》は、「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会计学入門」および「経済学1・2」を配置しています。いずれも必修科目であり、商学の基礎を学修します。
 - b) 《商学・流通》《経営》《会計》《金融・財務》《情報》は、商学・経営学における各分野の基盤となる科目を配置しています。
 - c) 《実践的プログラム》は、「専門演習」（ゼミ）と経営実践、ビジネス外国語などを学修する諸科目から編成されています。「専門演習」（ゼミ）は、学生各自が関心を有する専門的な内容を学び取るために、2年間にわたって少人数でテーマに関する調査、報告、議論、講読をおこないます。学修・研究の成果として卒業論文を作成・提出します。
 - d) 《学部関連》は、資格取得を目指した科目、海外留学に関連した科目の他、「職業指導」「外書購読」「会社法」などの科目を配置しており、各自の進路、学修上の関心に応じて履修します。
- ② 《学科専門科目》は、《情報科目》《発展科目》から構成されます。各自の学修上の関心に応じて体系的に履修してください。
 - a) 《情報科目》は、情報および情報システムによる経営管理・経営革新の理論と実践について学修する諸科目から編成されています。科目は、「経営情報システム論」「プログラミング1・2」などを配置しています。
 - b) 《発展科目》は、企業経営について、地域および地球規模のソーシャルネットワークの視点から、ICT活用による企業の持続的発展への貢献について学修するべく、3つの科目群（地域ビジネス、国際ビジネス、ホスピタリティビジネスに関する諸科目）から構成されています。科目は、「地域ブランド論」「国際経営論2」「ホスピタリティ論」などを配置しています。

カリキュラム上の特色

学部共通科目では、商学の基礎科目、専門演習（ゼミ）、さらには経営実践、ビジネス外国語などの諸科目も配置していますので、自分の学修プランに従って履修科目を選択してください。

学科専門科目は次の科目群から構成されています。自分の学修プラン、進路に応じて履修科目を選択してください。

- 1) 《情報科目》は、情報による経営革新の理論と実践を学修するために必要な商学・経営学の諸科目、経営情報の実習などを配置しており、情報および情報システムを活用した経営管理ならびに経営革新の理論と実践を身につけます。
- 2) 《発展科目》は、地域ビジネス、国際ビジネス、ホスピタリティビジネスに関する諸科目を配置しており、上記の 1)に加えて、2 つ目の専門的知識を身につけます。各自、学修上の関心に従って履修科目を選択してください。

他学科開講科目の履修

商学部では他学科科目の履修が認められており、《自由選択科目（フリーゾーン）》として卒業要件にも含まれます。履修には本人の申し出が必要となります。履修登録期間または履修登録変更期間に教務課窓口で申し込んでください。

資格単位認定

学生が主体的に学ぶ意欲を評価することを目的として、「能力開発 1～3」を配置しています。また、より高い目標へ挑戦する学生をサポートすることを目的として、特定の授業科目の単位認定制度を設けています。学部が指定する資格を取得し、定められた基準をクリアした場合に、本人の申請にもとづき、所定の単位が認定（R 評価）されます。なお、資格センターではみなさんの便宜をはかるために、各種資格講座を学内で開設しています。

1. 対象となる資格など

表 1（「能力開発 1～3」を認定）、各 2 単位、項番 1・14 は最大 4 単位

項番	認定する資格・検定名	認定基準	項番	認定する資格・検定名	認定基準
1	TOEIC Listening & Reading （IP も含む）	470 点以上	10	色彩検定	2 級以上
		600 点以上	11	カラーコーディネーター検定試験	2 級以上
2	ビジネス能力検定試験（B 検） ジョブパス	2 級以上	12	一種証券外務員資格	資格取得
3	秘書技能検定試験	2 級以上	13	二種証券外務員資格	資格取得
4	IT パスポート試験	資格取得	14	経営学検定試験 （マネジメント検定）	初級
5	基本情報技術者試験	資格取得			中級以上
6	旅行業務取扱管理者試験 （「国内」または「総合」）	資格取得	15	日本語検定	2 級以上
			16	ファイナンシャル・ プランニング技能検定	3 級以上
7	通関士試験	資格取得	17	診療報酬請求事務能力認定試験	資格取得
8	宅地建物取引士資格試験	資格取得	18	貿易実務検定	C 級以上
9	行政書士試験	資格取得			

表 2（特定の授業科目を単位認定）

認定する資格・検定名	認定基準	認定される授業科目	認定される最大単位数
リテールマーケティング（販売士） 検定試験	3 級	商業経営講座基礎 1・2	2 単位
	2 級	商業経営講座基礎 1・2	4 単位
	1 級	商業経営講座上級 1・2	8 単位
日本商工会議所簿記検定試験	2 級	簿記初級・中級	4 単位
	1 級	簿記初級・中級・上級 工業簿記 1・2	10 単位
全国経理教育協会簿記能力検定試験	1 級(全科目)	簿記初級・中級	4 単位
	上級	簿記初級・中級・上級 工業簿記 1・2	10 単位
全国商業高等学校簿記実務検定試験	1 級(全科目)	簿記初級・中級	4 単位
税理士試験 簿記論	資格取得	簿記論初級・中級・上級	12 単位
税理士試験 財務諸表論	資格取得	財務諸表論初級・中級・上級	

2. 申請期間

春学期は 6 月、秋学期は 12 月の開講日に申請。申請月以前 3 年以内に取得したものに限りです。

表 1 について、入学前に取得したものは申請を許可しません。

表 2 について、入学日から 3 年以内に取得した資格のみ、入学年度に限り申請を受けつけます。

3. 申請期間の特例

最終学年の学生（卒業予定者）に限り、「2. 申請期間」以外に教務課より CCS にて周知される特定の期間において追加申請を受けつけます。

4. 認定

学部において承認された場合、単位を認定します。申請時の年次が科目配当年次に達していない場合でも、配当年次に関係なく単位認定をおこないます。

5. 成績標語など

単位認定の成績標語は「R」（認定）とします。認定された科目は GPA 算出の対象外となります。

6. 補足事項

認定単位数は、履修制限単位数には含みません。

表 1 について、各種資格の申請は各 1 回とします。

表 1 項番 1 について、認定基準ごとに 1 回ずつ申請が可能であり、両基準合計で最大 4 単位の認定となります。

表 1 項番 14 について、認定基準ごとに 1 回ずつ申請が可能です。

表 2 について、教職課程加入者（希望者）は、教員免許申請に「認定」科目を含められないため、教員免許要件上必修である「簿記初級・中級」は認定しません。

その他、詳細は教務課までお問い合わせください。

演習科目

「基礎セミナー」

1 年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学習方法、レポ

ートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法などを身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

「専門演習」

1) 専門演習とは

「専門演習（ゼミ、以下省略）」は、3・4年次の2年間受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開します。ゼミは少人数でおこない、専門的なテーマについて深く研究します。さらに、学生の研究発表を中心に、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。かくして、ゼミは切磋琢磨の場であり、その結果、ゼミ生の間には強い仲間意識が醸成されます。

専門演習には、多種多様なゼミナールを配置し、ほぼ全員がいずれかのゼミに加入しています。詳細は、秋学期におこなう専門演習に関するガイダンスなどで指示・連絡します。

2) 専門演習の履修にあたって

1. ゼミの選択：「専門演習」は学科専門教育の仕上げにあたる科目であり、主体的で積極的な研究態度が要請されます。自己の研究課題を考え、各自に有意義と思われるゼミに応募してください。

2. 定員：担当する教員数によって変わりますが、通常1ゼミ15名程度を募集します。

3. 募集：2年次秋学期にCCSより募集がありますので、案内を見逃さないように注意しましょう。

（1）選考

各ゼミ担当教員による書類選考、または面接による選考がおこなわれます。希望のゼミがいずれも定員超過の場合、他のゼミに所属が決定する場合があります。

（2）発表 11～12月

4. 資格：2年次終了時において総修得単位数が40単位に満たない時はゼミを履修できません。

選考において合格（内定）していても、内定は「取り消し」となります。

5. 卒業論文：2年間の指導を受けながら、4年次にはゼミでの研究を卒業論文にまとめます。

この論文を担当教員に提出し、2年間の研究の評価を受けることで、単位が認定されます。

履修モデル

経営情報学科

学部共通科目

商学・経営学の基盤となる多くの科目が設置されています。

- ① ≪学部共通科目≫となる「商学総論 1・2」「経営学総論 1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学 1・2」は1年次に履修します。
- ② 商学・経営学および情報マネジメントの基礎科目をバランスよく履修してください。さらに、実践の視点、関連科目、ビジネス外国語に関する科目を配置しています。各自、学修上の関心に従って履修科目を選択してください。

学科専門科目

≪情報科目≫と≪発展科目≫に区分されています。

- ① ≪情報科目≫は、理論と技能を身につける科目を配置していますので、両面をバランスよく学修してください。
- ② ≪発展科目≫は、3つの分野（地域ビジネス、国際ビジネス、ホスピタリティビジネスに関する諸科目）から構成されていますので、各自の学修プランおよび進路に応じて履修科目を選択してください。

卒業要件

卒業要件単位の修得

商学部のカリキュラム表にもとづいて必要な単位数（124 単位）以上を修得しなければなりません。

卒業要件単位数

上記の、学則第 16 条に規定する単位数（124 単位）を卒業要件単位数といいます。それぞれの単位数には必修科目を含みます。授業科目表と照らして区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかりと立ててください。

NGU教養 スタンダード科目	キリスト教	34単位以上 (必修14単位を含む)
	自己理解と自己開発	
	情報	
	言語とコミュニケーション	
	歴史・文化の理解	
	社会の理解	
	自然・人間・生命の理解	
	地域の理解	
	教職 ※1	
学部共通科目		44単位以上 (必修16単位を含む)
学科専門科目		36単位以上
自由選択科目 ※2		10単位以上
合計		124単位以上

※1 教職課程加入者のみ履修可。8単位までを卒業要件単位とすることができる。

※2 〔フリーゾーン〕科目区分を問わず、自由に選択できる。

経営情報学科 NGU教養スタンダード科目

授業科目名	単位数		配当 年次	ナンバ リング
	必修	選択		
キリスト教				
キリスト教概説1	2		1	AC1101
キリスト教概説2	2		1	AC1102
聖書学		2	2	AC2301
キリスト教倫理		2	2	AC2302
キリスト教史		2	1	AC1301
自己理解と自己開発				
基礎セミナー	2		1	AU1101
発展セミナー		2	1	AU1301
キャリアデザイン1a		2	1	AU1302
キャリアデザイン1b		2	1	AU1303
キャリアデザイン2a		2	2	AU2301
キャリアデザイン2b		2	2	AU2302
ボランティア学		2	1	AU1304
ボランティア演習		2	1	AU1305
インターンシップ1		2	1	AU1306
インターンシップ2		2	1	AU1307
情報				
情報処理基礎	2		1	AI1101
言語とコミュニケーション				
日本語表現	2		1	AV1101
日本語表現上級		2	1	AV1301
基礎英語1	1		1	AV1102
基礎英語2	1		1	AV1103
英会話1	1		1	AV1104
英会話2	1		1	AV1105
実用英語1		1	2	AV2301
実用英語2		1	2	AV2302
情報英語1		1	2	AV2303
情報英語2		1	2	AV2304
TOEIC英語1		1	2	AV2305
TOEIC英語2		1	2	AV2306
ドイツ語1		1	2	AV2307
ドイツ語2		1	2	AV2308
フランス語1		1	2	AV2309
フランス語2		1	2	AV2310
スペイン語1		1	2	AV2311
スペイン語2		1	2	AV2312
中国語1		1	2	AV2313
中国語2		1	2	AV2314
韓国語1		1	2	AV2315
韓国語2		1	2	AV2316
歴史・文化の理解				
【教養】日本史		2	1	AW1301
【教養】世界史		2	1	AW1302
【教養】日本文学		2	1	AW1303
【教養】外国文化論		2	1	AW1304
【教養】文化人類学		2	1	AW1305
【教養】陶芸論		2	1	AW1306
【教養】陶芸演習		2	1	AW1307

授業科目名	単位数		配当 年次	ナンバ リング
	必修	選択		
社会の理解				
【教養】政治学		2	1	AO1301
【教養】国際政治学		2	1	AO1302
【教養】国際関係論		2	1	AO1303
【教養】平和学		2	1	AO1304
【教養】法学		2	1	AO1305
【教養】日本国憲法		2	1	AO1306
【教養】経済学		2	1	AO1307
【教養】統計学		2	1	AO1308
【教養】社会学		2	1	AO1309
【教養】教育学		2	1	AO1310
自然・人間・生命の理解				
【教養】哲学		2	1	AN1301
【教養】心理学		2	1	AN1302
【教養】数学		2	1	AN1303
【教養】物理学		2	1	AN1304
【教養】化学		2	1	AN1305
【教養】地学		2	1	AN1306
【教養】生物学		2	1	AN1307
【教養】環境学		2	1	AN1308
【教養】情報処理論		2	2	AN2301
【教養】スポーツ健康科学		2	1	AN1309
【教養】スポーツ初級a		1	1	AN1310
【教養】スポーツ初級b		1	1	AN1311
【教養】スポーツ中級a		1	2	AN2302
【教養】スポーツ中級b		1	2	AN2303
地域の理解				
まちづくり学		2	1	AR1301
まちづくり演習		2	1	AR1302
上級まちづくり演習		2	2	AR2301
教職				
教職論		2	1	AQ1301
教育原理		2	1	AQ1302
教育心理学概論1		2	1	AQ1303
教育心理学概論2		2	1	AQ1304
教育制度論		2	1	AQ1305
特別活動論		2	2	AQ2301
教育の方法と技術		2	2	AQ2302
道徳教育論		2	2	AQ2303
生徒・進路指導論		2	2	AQ2304
教育相談		2	2	AQ2305

経営情報学科 専門科目

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
学部共通科目	学部必修科目				
	商学総論1	2		1	CT1101
	商学総論2	2		1	CT1102
	経営学総論1	2		1	CT1103
	経営学総論2	2		1	CT1104
	簿記入門	2		1	CT1105
	会計学入門	2		1	CT1106
	経済学1	2		1	CT1107
	経済学2	2		1	CT1108
	商学・流通				
	流通論		2	2	CT2301
	流通システム		2	2	CT2302
	商業史		2	2	CT2303
	マーケティング論1		2	2	CT2304
	マーケティング論2		2	2	CT2305
	国際マーケティング論		2	2	CT2306
	ロジスティクス		2	2	CT2307
	経営				
	経営管理論		2	2	CT2308
	経営組織論		2	3	CT3301
	国際経営論1		2	2	CT2309
	会計				
	簿記初級		2	2	CT2310
	簿記中級		2	2	CT2311
	会計監査論		2	3	CT3302
	原価計算基礎論		2	2	CT2312
	原価計算システム論		2	2	CT2313
	金融・財務				
	金融基礎論		2	2	CT2314
	金融システム論		2	2	CT2315
	国際金融論		2	3	CT3303
	外国為替論		2	3	CT3304
	財務管理論		2	2	CT2316
	コーポレート・ファイナンス		2	2	CT2317
	情報				
	情報社会論		2	2	CT2318
	情報リテラシー		2	2	CT2319
	情報ビジネス論		2	2	CT2320
	情報と職業		2	2	CT2321
	実践のプログラム				
	専門演習		12	3・4	CT3305・CT4301
	課題研究		6	3・4	CT3306・CT4302
	経営実践		2	2	CT2322
	経営実践応用		2	2	CT2323
	ビジネスマナー		2	2	CT2324
	ビジネスマナー応用		2	2	CT2325
	企業経営セミナー		2	2	CT2326
	ビジネス英語1		2	2	CT2327
	ビジネス英語2		2	2	CT2328
	商業経営講座基礎1		2	2	CT2329
	商業経営講座基礎2		2	2	CT2330
	商業経営講座上級1		2	2	CT2331
	商業経営講座上級2		2	2	CT2332
	学部関連				
	社会事情		2	2	CT2333
	職業指導		2	2	CT2334
外書購読		2	3	CT3307	
会社法		2	3	CT3308	
所得税法		2	3	CT3309	
法人税法		2	3	CT3310	
能力開発1		2	1	CT1301	
能力開発2		2	1	CT1302	
能力開発3		2	1	CT1303	

学部共通科目

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
学部共通科目	海外事情1		2	1	CT1304
	海外事情2		2	1	CT1305
	海外事情3		2	1	CT1306
	海外事情4		2	1	CT1307
	海外研修1		4	1	CT1308
	海外研修2		4	1	CT1309
	海外研修3		4	1	CT1310
	海外研修4		4	1	CT1311
学科専門科目	情報科目				
	プログラミング入門		2	1	CT1312
	プログラミング1		2	2	CT2335
	プログラミング2		2	2	CT2336
	情報ネットワーク論		2	1	CT1313
	経営データマイニング		2	2	CT2337
	先端情報技術		2	2	CT2338
	オペレーションマネジメント		2	2	CT2339
	オペレーションズリサーチ		2	3	CT3311
	経営シミュレーション		2	2	CT2340
	情報文化論		2	1	CT1314
	データベース概論		2	2	CT2341
	経営情報システム論		2	3	CT3312
	情報セキュリティマネジメント		2	3	CT3313
	情報デザイン入門		2	1	CT1315
	Webデザイン		2	2	CT2342
	マルチメディア1		2	2	CT2343
	マルチメディア2		2	2	CT2344
	プレゼンテーション技法		2	2	CT2345
	情報デザイン演習		2	1	CT1316
	アルゴリズム基礎演習		2	2	CT2346
	情報技術者演習1		2	2	CT2347
	情報技術者演習2		2	2	CT2348
	情報技術者演習3		2	2	CT2349
	情報システム設計演習		2	3	CT3314
	情報処理演習		2	3	CT3315
	発展科目				
	コンテンツビジネス論		2	2	CT2350
	インターネットマーケティング		2	3	CT3316
	イノベーション論		2	3	CT3317
	地域ブランド論		2	2	CT2351
	地域ブランド演習1		2	2	CT2352
	地域ブランド演習2		2	2	CT2353
	NPOマネジメント論		2	3	CT3318
	行動科学		2	3	CT3319
	サービスマーケティング		2	2	CT2354
	国際経営論2		2	2	CT2355
	コンピュータ会計演習		2	3	CT3320
	国際経済分析		2	3	CT3321
	国際コンペティション演習		2	3	CT3322
	新興国ビジネス論		2	2	CT2356
	比較経営論		2	2	CT2357
異文化ビジネス		2	2	CT2358	
アジアビジネス		2	2	CT2359	
ホスピタリティ入門セミナー		2	1	CT1317	
ホスピタリティ論		2	1	CT1318	
経営数学入門		2	1	CT1319	
経営情報演習1		2	2	CT2360	
経営情報演習2		2	2	CT2361	
国際経営演習		2	2	CT2362	
情報基礎演習		2	2	CT2363	
経営情報分析演習		2	2	CT2364	
経営情報特講		2	1	CT1320	

学科専門科目